

令和8年度奨学生願書(高校育英貸与奨学生又は高等学校奨学生)

申込者は願書の記入例を参照し、太線内を記入すること。

※の箇所は該当するものを○で囲むこと。

フリガナ 氏名	氏名		性別		※ 男・女	写真  4cm×3cm 写真裏にボールペンで学校名と名前を記入して下さい。		
	氏	名						
生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (満 歳)							
学校名	(↓○で囲む) 立 科 学校 年 組 ※全日制 定時制 通信制 入学: 年 月 卒業予定: 年 月							
申込種別	下記No.1～3の貸与希望項目に○印を付けてください。 No.1とNo.3は単独貸与、又は、併給貸与のいずれも可能となります。							
	No.1 高校育英貸与奨学金(月額制)							
	No.2 高等学校奨学金(月額制)							
No.3 修学支援奨学金(一括貸付)(修業年限を通じて1回限りの貸付)								
本人現住所 (実際に居住する住所)	〒( ) 電話番号:( ) - 携帯電話:( ) - ☆電話番号がない場合は、『なし』と記入ください。							
家族の住所	〒( ) 電話番号:( ) - 携帯電話:( ) - ☆電話番号がない場合は、『なし』と記入ください。							
生計を一にする家族の状況	就学者を除く家族	続柄	氏名	年令	所得の種類	※同居・別居 (↓○で囲む)	収入・売上(税込) 金額(万円)	所得金額又は 課税前所得
		父	(フリガナ)			同居・別居		(1)
		母	(フリガナ)			同居・別居		(2)
						同居・別居		(3)
						同居・別居		(4)
						同居・別居		(5)
↑ 同一人で2種類以上の所得がある場合は、二段に分け記入する。							所得金額の計	(6)
本人を除く就学者	続柄	氏名	年令	学校名	学年	※通学別 (↓○で囲む)	控除額(万円)	
						自宅・自宅外	(7)	
						自宅・自宅外	(8)	
						自宅・自宅外	(9)	
						自宅・自宅外	(10)	
控除額 (7)～(20)	※高校育英貸与奨学生	1 本人の就学者控除(国公立:自宅19万円/自宅外41万円、私立:自宅33万円/自宅外54万円)						(12)
		2 母子・父子世帯(世帯18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等)(一律49万円)						(13)
		3 障がいのある人がいる世帯(身体障害者手帳の写し、医師等の証明書の提示できる者)(一人につき99万円)						(14)
		4 長期に療養を必要とする人(6か月以上の療養が必要な人)がいる世帯(療養のため経常に支出をしている年間金額)入院、通院証明書又は診断書(記載内容:療養期間及び通院頻度)と直近6か月分の医療費等の領収書写しの提出						(15)
		5 主たる家計支持者が別居している世帯(一律71万円)						(16)
		6 火災・風水害等の被害を受け2年以上にわたり著しく困窮状態におかれる世帯(支出増・収入減額)						(17)
※奨学生	高等学校	a 母子・父子世帯(世帯18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等)						(18)
		b 障がいのある人(身体障害者程度等級表1級、2級及び3級の者)						(19)
※高校育英貸与奨学生 [(7)～(17)の計] ※高等学校奨学生[(18)、(19)の計]							控除額合計	(20)
財団認定欄	[(6)～(20)] 認定所得金額							(21)
	世帯人員(本人含む 人) ※高等学校奨学生( 級地- ) 収入基準額							(22)
	認定所得金額							(23)

《家庭の事情》(奨学金貸与を希望する理由)	《奨学生としての決意と将来の夢》

緊急採用の場合

1. 家計急変の理由 (↓○で囲むこと)  
 ※ ア. 家計支持者が会社の倒産等により解雇又は早期退職 イ. 家計支持者が死亡又は別離  
 ウ. 家計支持者が破産 エ. 病気、事故、会社倒産、営業不振等により著しく支出が増大又は収入が減少  
 オ. 火災、水害、震災等により著しく支出が増大又は収入が減少

2. 理由が生じた年月 年 月

3. 希望する貸与始期 年 月  
 (家計急変の理由が生じた月まで遡ることができる。ただし、令和8年4月が限度)

※生活保護を受給していますか? はい いいえ

以上のおとり記載事項に相違はありません。貴財団の奨学生として採用していただきたくお願いします。

年 月 日

公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団理事長 殿

本人 氏名 ㊟

連帯保証人	フリガナ 氏名		㊟	※昭和・平成 (←○で囲む) 年 月 日生	続柄	
	現住所	〒(      -      )		電話番号:(      ) -		
	勤務先名		部署		職種	電話番号:(      ) -

(本人と別の印を使用してください→)

☆電話番号がない場合は、『なし』と記入ください。

注意1 「連帯保証人」は、父又は母。父母がいない場合は、成年者のきょうだい又は未成年後見人等を選ぶこと。  
 注意2 奨学生として採用されたら、連帯保証人とは別に「保証人」(奨学生かつ連帯保証人と別生計を立てている父母以外の成年者で、申込時の貸与終了予定月において65歳以下の有職者)が必要になります。

※奨学生適格認定報告(奨学金貸与と継続申請該当者名簿)の登載実績 有り 無し

※評定平均値3.0以上の応募者は所見欄記入不要。	学習成績(5段階)の評定平均値	(↓○で囲むこと) ※中学校(      ) 高校(      )	(注)学習成績の評定については文書記述が可能な場合はそれに従ってよい。	通学区分の学校認定(↓○で囲むこと) ※ 自宅通学 自宅外通学
	人物評定	(↓○で囲むこと) ※中学校(      ) 高校(      )	特に優れている・・・5 適している・・・3 かなり努力がいる・・・1	優れている・・・4 努力がいる・・・2
※所見欄	生徒の人柄、生活環境、学校での活動など		所見記入者氏名	

この生徒は、貴財団の奨学生として人物、健康が推薦基準に合致していると認め、推薦します。

年 月 日

公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団理事長 殿

学校名

学校長氏名

校長印等 公印  
省略可

学校担当者氏名

記載された個人情報は、当財団の奨学金業務にのみ利用するものです。なお、応募された願書等は返却しませんのでご承知おきください。